



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 三 光 産 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 遠 藤 幹 雄  
(コード番号 7922)  
問 合 せ 先 責 任 者 常 務 取 締 役 高 橋 光 弘  
総 務 ・ 経 理 担 当  
(電話番号 03-3403-8134)

## 中期経営計画策定のお知らせ

この度、当社グループは、2019年3月期を初年度とする3ヶ年「中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画策定の背景

当社グループの属する印刷業界は、印刷需要の減少により受注単価の下落をはじめとする受注競争の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、業績の回復と将来にわたる持続的な成長・発展を遂げていくために、2019年3月期を初年度とする3ヶ年「中期経営計画」を策定し、新年度からスタートさせることといたしました。

#### 2. 対象期間

2019年3月期から2021年3月期（3ヶ年）

#### 3. 中期経営計画の基本方針

「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を基本方針に掲げ、各重点施策に積極的に取り組んでまいります。

#### 4. 重点施策

##### (1) タッチパネル事業の業界内地位の安定化

タッチパネル事業の拡大及び収益安定化のため、

- ・ 品質管理の徹底
- ・ 適正見積の実施
- ・ 継続的な技術進歩へ対応するため高度な技術力のある企業との連携強化を推進してまいります。

##### (2) シール・ラベル事業の新たな柱の構築

シール・ラベル事業の新たな柱の構築のため、

- ・ 電機機器業界以外への進出
  - ・ グループ内受注の拡大による、工場稼働率の向上
  - ・ 設備投資による生産性の向上
- を推進してまいります。

##### (3) 基幹システムのリプレイス

2020年3月までに基幹システムをリプレイスし、

- ・ 国内事業所の事務処理の効率化
  - ・ タイムリーな計数管理による経営管理レベルの向上
- を推進してまいります。

(4) アセアン地域の業績の安定化

アセアン地域の受注の拡大及び業績の安定化のため、

- ・ 工場オペレーションの品質高度化による、マレーシア子会社の黒字を維持・拡大
  - ・ バンコク、ベトナム拠点の早期黒字化のための受注増加
- を推進してまいります。

(5) 中国深圳工場の業績の安定化

現状の受注規模で黒字化が見込めるコスト構造へ変革するため、

- ・ 工程管理の改善
- ・ 適正人員への調整

を推進してまいります。

5. 中期経営計画目標（連結）

連結業績目標は、以下の通りであります。

（百万円）

	2017年3月期 （前々期）実績	2018年3月期 （前期）実績	2021年3月期 （本計画最終年度）
売上高	9,930	12,660	12,800
営業利益	△129	187	240
親会社に帰属する 当期純利益	204	252	200

6. 設備投資額

以上を実現させるため、当該中期経営計画期間において設備投資を中心に各事業拠点合計で約1,000百万円の投資を実施する予定であります。

以上

【将来の見通しに関する注意事項】

本資料記載の将来に係わる一切の記載内容は、発表時現在において入手可能な情報に基づき推計した見込であり、今後の様々な要因により実際の施策、業績が記載と異なる可能性があります。

# 中期経営計画

## (2019年3月期～2021年3月期)

---

---

2018年5月11日



三光産業株式会社  
SANKO SANGYO CO.,LTD.  
(証券コード:7922)

# 目次



---

基本方針	p.3
数値目標	p.8
長期計画	p.15



## 基本方針

---

---



## 1-1 当社の存在意義

---

### 経営理念

「高い技術力と高い品質力で社会に貢献する」

### 経営の基本方針

「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」

- 研究・開発に努め、技術の蓄積を行う
- 品質保証体制の確立と生産設備の充実
- 営業力の向上に努め、真のマーケットリーダーを目指す
- 組織の効率化を追求



## 1-2 中期経営目標

### 黒字体質への転換

- ・ 前期営業利益**1.8**億円計上
- ・ 恒常的に連結純利益を計上できる会社に戻す
- ・ 中期経営計画最終年度以降連結営業利益 2 億円継続

### タッチパネル事業 の業界内地位の安定化

- ・ 前期よりタッチパネル事業の採算性が上がっている
- ・ 品質管理を徹底し、業界のサプライヤーとして確固たる地位を築く

### シール・ラベル事業 の収益性の改善

- ・ 東京圏のシール・ラベル事業の収益性を改善する
- ・ アセアン地区全体でグループ貢献利益を上げる



## 1-3 経営目標達成のために

### 重要施策

タッチパネル事業  
の業界内地位の安定化

- ・品質管理の徹底
- ・適正見積の実施
- ・継続した技術進歩への対応と高度な技術力のある企業との連携強化

シール・ラベル事業の  
新たな柱の構築

- ・電機機器業界以外への進出
- ・グループ内受注の拡大により工場稼働率を上げる
- ・設備投資による生産性の向上

基幹システムのリプレイス

- ・老朽化したシステムを2020年3月までに更新して、国内事業所の事務処理の効率化をはかる
- ・タイムリーな係数の把握を通じて経営管理レベルを上げる



## 1-3 経営目標達成のために

---

### 重要施策

アセアン地域の業績の安定

- ・ マレーシアの黒字を維持するための工場オペレーションの品質高度化
- ・ バンコク、ベトナム拠点の早期黒字化のための受注増加

深圳工場の業績の安定

- ・ 工程管理の改善
- ・ 適正人員への調整



## 数值目標

---

---



## 2-1 数值目標





## 2-1 数値目標

---

- 2018年3月期はタッチパネル事業にて好調な業績となったが、ライフ期間の短いビジネスによる影響が大きかった
- 2019年3月期からの中期計画においては、2018年3月期業績を恒常的に獲得できる体制を目指す
- 2019年3月期からの3カ年を、中期計画最終年度である2021年3月期以降安定して営業利益200百万円を計上するための基礎を作る期間として位置付ける
- 2021年3月期に営業利益200百万円超の獲得を目指す



## 2-2 セグメント別数値目標

### セグメント別売上

セグメント別売上		2018年3月期 実績	2019年3月期 見込み	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画	対2018年3月期 実績
連結合計	百万円	12,660	11,400	12,000	12,800	140
日本	百万円	8,239	9,600	9,891	10,654	2,415
中国	百万円	5,859	2,644	2,616	2,694	-3,165
アセアン	百万円	691	885	1,161	1,219	528
全社・消去	百万円	-2,128	-1,729	-1,668	-1,767	361

- 2018年3月期の売上高の水準をベースにする
- グローバル営業部門の売上を着実に伸ばす
- アセアンはタイ・ベトナムを伸長し、今後の主要収益セグメントへ



## 2-2 セグメント別数値目標

### セグメント別営業利益

セグメント別営業利益		2018年3月期 実績	2019年3月期 見込み	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画	対2018年3月期 実績
連結合計	百万円	187	100	142	240	53
日本	百万円	29	38	51	140	111
中国	百万円	156	54	46	50	-106
アセアン	百万円	-7	8	45	50	57
全社・消去	百万円	9	-	-	-	-9

- 2018年3月期の利益水準をベースにする
- アセアンを利益セグメントに成長させる



## 2-3 投資

### 時期確定設備投資

拠点		金額見込	主要項目
連結合計	百万円	1,000	
本社	百万円	200	EDP
長野	百万円	100	生産能力増強投資
川越	百万円	100	更新投資他
大阪	百万円	100	シール間歇ミニ、デジタルプリンター
中国	百万円	300	規制・環境対応他
マレーシア	百万円	100	老朽化対応他
タイ	百万円	100	市場ニーズ対応

- 2021年3月期の目標達成のために最適な設備投資を行う



## 2-3 投資

### 時期未確定設備投資

拠点		金額見込	主要項目
連結合計	百万円	1,000~2,000	国内事業関連新技術の開発資金 アセアンセグメントにおける工場新設等 拡張設備投資

- 2021年3月期以降の成長のための投資枠
- グループ利益の伸長のために成長分野に対して積極的に投資を行う
- 新技術開発については協業会社の選定も含め進めていくため投資時期は未定
- アセアンセグメントにおいては中期事業計画期間にて投資エリアを見極める
- アセアンセグメントでの投資先の現状見込みとしてはタイ、ベトナムである



## 長期計画

---

---

## 3-1 数値目標

